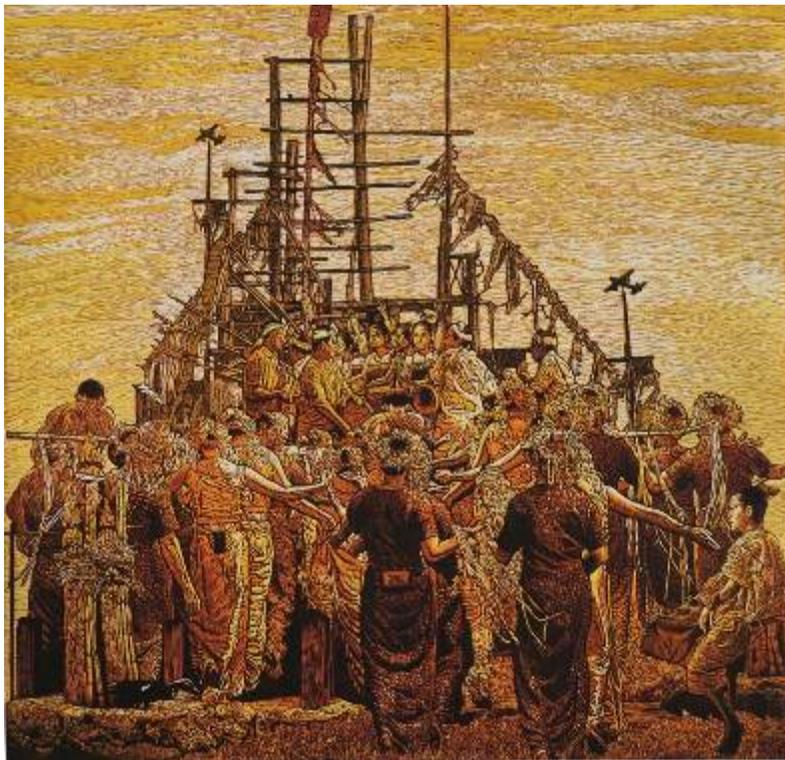


会館だより

2012年 8月号 第278号



公益財団法人 日中友好会館

「会館だより」 8月号の内容

お知らせ

- ・役員選任に関するお知らせ

行事案内

《日中友好会館美術館》

- ・「日中国交正常化 40 周年記念
日中友好書画展」
特別展:現代中国の草聖「于右任書展」
- ・筆之友選抜書道展

《日中友好後楽会》

- ・お知らせ

活動記録

- ・後楽会中国旅行報告
- ・新入寮生懇親会
- ・平成 24 年度中国国家行政学院
公務員訪日研修団
「キズナ強化プロジェクト」で来日

会館行事と人の動き

表紙

『聖河』 張曉春 作
(絶版木版画 2011 年 70×72 cm
雲南省普洱市美術館所蔵)

お知らせ

◆役員選任に関するお知らせ

日中友好会館は4月1日をもって公益財団法人への移行登記を完了し、5月及び6月に行われました評議員会及び理事会におきまして下記のとおり役員を選任しましたので、お知らせいたします。

名誉顧問	程 永華	会 長	江田 五月
顧 問	林 義郎	副 会 長	宮本 雄二
顧 問	谷野作太郎	副 会 長	劉 智剛
顧 問	文 遲	理 事 長	武田 勝年
顧 問	村上 立躬	中国代表常任理事	王 昆
評 議 員	秋岡 榮子	理 事	片寄 浩紀
評 議 員	飯高 和子	理 事	小池 敏明
評 議 員	岩沙 弘道	理 事	張 瓏庭
評 議 員	殷 秋雄	理 事	西堀 正司
評 議 員	江橋 崇	理 事	細川 敬子
評 議 員	海江田万里	理 事	横堀 克己
評 議 員	木村 興治	理 事	廖 雅彦
評 議 員	関 誠		
評 議 員	曾 徳深	監 事	青山 揚一
評 議 員	竹下 亘	監 事	名尾 邦博
評 議 員	成澤 廣修		
評 議 員	福田 昭昌		
評 議 員	横川 健		

(敬称略)

行事案内

日中友好会館美術館

◆「日中国交正常化40周年記念 日中友好書画展」

特別展：現代中国の草聖「于右任書展」

会期：2012年8月17日(金)～8月20日(月)
時間：10時～17時

(初日は15時より 最終日は16時まで)

主催：日中国交正常化40周年記念事業
実行委員会

共催：国際友好書画協会 (株)書道芸術社
(株)京都リベラルアート

後援：

外務省 観光庁 中国人民共和国駐日本国大使館文化部
日本中国文化交流協会 公益財団法人日中友好会館
社団法人日中協会

中国書法家協会 河南省書法家協会

入場料：無料

問合せ先：(株)書道芸術社

電話 03-5298-3570

日中国交正常化40周年記念を迎え、両国各地でこれを記念する行事が開催されております。顧りみますと、国交正常化に至るまでの両国先人の並々ならぬ尽力、苦勞があり漸く開かれた両国の扉…。それから40年という月日を経過し、改めて両国のより友好的な関係の構築と堅持を希求せずにはおられません。国民性や国家体制の違いを認識した上での相互理解、相互尊重が益々求められる昨今でもあります。私達は文化芸術による人と人との交流を通じて生まれる温かい心の絆が、平和的で友好な関係を創出していくことを願い、「日中友好書画展」をさらに特別展として草書名筆40余点を展示する〈現代中国の草聖『于右任書展』〉を開催いたします。

◆筆之友選抜書道展

会期：2012年8月28日(火)～9月2日(日)

時間：10時～17時 (最終日は16時まで)

主催：「筆之友」誌・書道奨励協会

後援：美術新聞社、株式会社リンクス

問い合わせ先：書道奨励協会事務局

電話：049-242-0016

入場料：無料

明治33年創刊の誌「筆之友」、長い歴史の中で、脈々と伝承された「書の道」を大切にしている団体です。師範資格者以上の会員による発表の場です。諸賢のご来観を賜り、御教示頂ければ、誠に幸甚とする次第でございます。

日中友好後楽会

◆お知らせ

8月は夏休みですので行事はお休みさせていただきます。

【問合せ】

後楽会事務局 小林陽子

電話：03-3811-5305

FAX：03-3811-5263

メールアドレス：bunka@jcfcc.or.jp

活動記録

◆後楽会中国旅行報告

今年の後楽会中国旅行は、「浙江省 7 日間」と題し、上海、西塘、寧波、舟山（普陀山）、紹興を巡る 6 泊 7 日の旅程で行いました。



水郷のまち西塘

- ① 6/5 午後、成田より上海へ、ホテルへ移動
- ② 6/6 上海よりバスにて西塘へ、風情ある水郷のまち西塘を見学、その後寧波へ
- ③ 6/7 午前：寧波市内見学（保国寺、天童寺、阿育王寺）、その後舟山群島につながる新大橋を渡り、舟山市へ移動、舟山市文化局主催の歓迎宴、舟山鑼鼓等の芸能公演を見学
- ④ 6/8 フェリーにて普陀山へ、普陀山見学（不肯去觀音院、普濟寺、法雨寺、慧濟寺）、夕刻 舟山漁民画画廊を見学、画家と交流、夕食は現後楽寮生 1 名と会食
- ⑤ 6/9 寧波へ移動、市内見学（天一閣、城隍廟、河姆渡遺跡博物館）、その後紹興へ、夜は元後楽寮生 4 名と交流夕食会
- ⑥ 6/10 紹興市内見学（魯迅ゆかりの三味書屋、記念館、故居、咸亨酒店と大禹陵、蘭亭）、夜は元後楽寮生 1 名と交流夕食会

- ⑦ 6/11 午前、紹興市内見学（府山公園）
午後、 杭州空港より東京へ帰国。



舟山市文化局 邱平海局長（右）、村上立躬顧問

今回は 19 名の参加でした。浙江省は観光地として有名なところが多い地域ですが、その中でもなかなか訪れる機会の少ない舟山諸島を中心にその周辺の寧波、紹興、西塘などを巡りました。舟山諸島では中国 4 大仏教聖地のひとつである普陀山や漁民独特の文化芸術を見学し、歴史のある寧波ではお寺や 7000 年前の遺跡を見学、紹興では魯迅ゆかりの施設を訪問と、バラエティに富んだ見学地となりました。



漁民画家と交流

また、舟山では、2010 年中国文化之日公演・展示をしてくださった舟山市文化局の邱局長はじめ皆様が盛大に歓迎してくださり、また、現後楽寮生で同時期に帰省していた舟山出身の田さんとお会いし、紹興では元後楽寮生 5 名と夫人が杭州や上海からわざわざ駆けつけ、久しぶりの嬉しい対面

を果たしました。



元後楽寮生の方偉さん（前列右2）

後楽会の旅行らしく、各地で沢山の方と交流し、様々な見学ができ、充実した旅行となりました。参加者の皆様にはこの場をお借りして道中のご協力、ご理解に御礼申し上げます。

来年も内容を充実させながら、ゆったりした旅を企画したいと思います。どうぞご参加下さい。



現後楽寮生の田乃魯さん（右2）・
ご両親（中央、左2）と村上顧問、職員の前田



元後楽寮生の彭偉さん（2列目右3）黄方明さん夫妻
（2列目左1、2）朱新林さん（3列目右2）

（後楽会事務局）

◆新入寮生懇親会



歓迎の挨拶をする武田理事長

6月21日、大ホールにおいて新入寮生懇親会を行いました。これは毎年6月と12月に行っている後楽寮の行事であり、今回は昨年11月から今年の5月までに入寮した寮生が対象です。当日は授業や研究などで来られない寮生もいましたが、30名以上が参加し、会館役職員との交流をしました。

まず会館出席者を紹介した後、武田理事長より歓迎の挨拶と会館の紹介があり、続いて寮生委員会の劉明全委員長から寮の紹介や寮生委員会についての話がありました。その後、一人一人が日本語や英語で自己紹介をしました。

次に会場を中国茶芸苑「馥」に移し、懇親会を行いました。寮生は毎日勉強や研究に忙しく在寮期間もまちまちなため、会館役職員や寮生同士の交流が多くありませんが、この懇親会で交流も進み、出身地や趣味が同じであるなど、新たな発見や共通認識もできたようです。

今回の新入寮生懇親会は今年6月から10月に入寮した寮生を対象に、12月に行う予定です。

（留学生事業部）

◆平成 24 年度中国国家行政学院 公務員訪日研修団 「キズナ強化プロジェクト」で来日

6月24日から7月1日までの日程で、平成 24 年度中国国家行政学院公務員訪日研修団（団長＝朱国仁・中国国家行政学院研究生部副主任）が来日した。国家行政学院は、上・中級公務員、ハイレベルの管理職、政策研究の人材を養成する国务院直属の機関であり、同学院で研修を行った公務員は、各所属機関において重要な地位を占めていくことが見込まれている。本団の招聘事業は14年目を迎え、今年は外務省が実施する「アジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流（キズナ強化プロジェクト）」の一環として、同学院幹部及び公共管理学修士（MPA）コースの研修公務員からなる計 42 名が来日した。



団員と歓談する江田五月 公益財団法人
日中友好会館会長（右より2）（歓迎会）

東日本大震災被災地～ 宮城県大崎市・女川町を訪問

訪日研修団一行は、キズナ強化プロジェクトに基づき、東日本大震災被災地である宮城県大崎市、女川町を訪問した。大崎市では、大崎市役所岩出山総合支所を訪れ、同市の被害状況と復旧・復興への取り組み、震災から学んだ教訓等についてブリーフを

聞いた後、職員と意見交換を行った。実体験に基づくさまざまな反省を通し、地域住民のために何をすべきか、団員は同じ行政の立場として真剣に耳を傾けていた。また被災地との絆をいっそう強いものとするために、伊藤康志大崎市長と日中友好のシンボルとなる牡丹を記念植樹し、ともに一日も早い復興を祈念した。震災後にスタートした「NPO 法人海の手山の手ネットワーク」との交流では、被災者支援活動の一環でもある新聞バッグを作成、民間レベルで被災者の心に寄りそう支援の紹介を受けた。女川町では、株式会社高政で東日本大震災を経験した中国の実習生と懇談し、津波の被害が大きかった沿岸部を視察した。

自然災害の脅威を目の当たりにした団員たちからは、被災地が懸命に再生に向けて取り組む姿を帰国後に広く伝えること、また震災で得た教訓を共有し、公務員の立場として生かすことが何より大切であるとの感想が聞かれた。



被災者支援活動の新聞バッグ作成を体験
（NPO 法人海の手山の手ネットワーク）

「日本の文化産業」をテーマに

一行は、被災地訪問のほか、人事院、早稲田大学公共経営大学院、富士通株式会社への訪問と京都視察を通じて、日本の公務員制度の研修、公務員同士の交流を図り、今回の訪日研修テーマである「日本の文化

産業」に基づくさまざまなプログラムを実施し、包括的な対日理解を深めた。

同じ文化産業でも、国家レベルのクールジャパン戦略から、地方自治体における文化・芸術振興の取り組み、政策分野における現代化の要請と伝統の調整、IT と絡めたさまざまな展開の可能性等、それぞれ異なる視点や角度から今回の研修テーマをめぐる考察を深めた。

宮城では、鳴子のこけしや温泉文化、地域に代々受け継がれている神楽に触れ、また京都においても、世界遺産の金閣寺や町屋文化の視察、着物の着付け、茶道等の体験を通し、歴史・文化遺産の保護、伝統の継承について学んだ。

本団の受け入れにご協力下さった関係機関・関係者の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げたい。

(総合交流部)

会館だより 7月号に下記の通り誤りがございましたので、お詫びして訂正いたします。

◆P7 右段下から 2 行目

(誤) 参加が試行錯誤と

→ (正) 参加がなければ試行錯誤と

◆P8 右段下から 2 行目

(誤) 誠意

→ (正) 謝意

会館行事と人の動き 6/1～30

● 会館行事

- 6/ 5～6/11 ▶ 後楽会中国旅行「浙江省の旅7日間」
- 6/ 6 ▶ 貸美催事「古今を刺繍する中国風—蘇州刺繍伝人濮恵菊作品展」
- 6/11 ▶ 第3回理事会
- 6/24～7/1 ▶ 中国国家行政学院公務員訪日研修団来日(6/25同団歓迎会、6/30歓送報告会)
- 6/21 ▶ 後楽会気功・中国画教室
 - ▶ 新入寮生懇親会 (於:日中友好会館 B1階大ホール)
- 6/21 ▶ 後楽会気功・中国画教室
- 6/27 ▶ 第2回評議員会
- 6/28 ▶ 寮生委員会主催学術サロン (講師:中国大使館教育処 白剛公使参事官)

● 来館・訪問・面会

- 6/ 5 ▶ 東京華僑総会往訪 (王理事)
- 6/ 7 ▶ 中国大使館往訪 (王理事)
- 6/18 ▶ 海江田事務所往訪 (村上顧問、武田理事長、小島事務局長)
- 6/22 ▶ 三井不動産岩沙会長訪問 (武田理事長、小島事務局長)
- 6/28 ▶ 高知工科大学 任向實教授来館

● 行事参加、その他の活動

- 6/13～16 ▶ 北京出張 (宮本副会長、武田理事長、王理事)
- 6/29 ▶ 中国留学生友の会招待東京ディズニーシー (後楽寮生50名)
- 6/30 ▶ 海南大学代表団歓迎宴 (村上顧問、周部長)